

日本災害看護学会先遣隊 令和6年能登半島地震活動報告

活動隊員：小原真理子・芹口順子・高田昭彦

2024年1月15日（月）

<1月15日>

- 2:30 情報交換
- 3:00 トイレキッドの補充
- 5:00 トイレ介助
ホットタオルの準備
- 6:00 体育館ラウンド、観察テント 避難者 A 息子と夜間安静に入眠、体温 36.8 度、血圧 178/90mmHg、SpO₂ 97%
1F ラウンド（窓越しに観察）
- 7:00 ホットタオルを配布
情報交換
- 8:00 本部会議（本部要員全員）
- 8:45 診療の準備（保健室2チーム診療）
マイクで診療開始について知らせる
体育館住民の診療受付（氏名・年齢・住所・症状の記載）
廊下での待合は寒いので、体育館内で待機、on call とする
- 9:30 医療5チーム来所（自衛隊2部隊、DMAT 1チーム、PWJ 1チーム）
本避難所の住民滞在構造、本日の受診希望者について情報提供
自衛隊2チーム：体育館住民対象
DMAT チーム・PWJ：教室の患者
受診者数：29名（体育館の患者は風邪症状と血圧関連が主である）
① 1名：精神科係りつけ医師からの薬の手渡しを明日になる
父親への面談後、本人の面談
かかりつけ医師から情報を得て、注射を行う予定となる。
- 10:30 朝食 感染者の居室の配膳は消防により、患者に渡すのは看護師
- 12:00 医療チーム診療終了、退室
診療状況について情報を得る。
- 12:30 交代で朝食をとる。
- 13:00 感染者の居室、気になる住民の観察。
- 14:00 TV 体操と換気、マスクの交換について呼びかける。
- 16:00 食事の配膳、感染部屋・要支援者の確認
- 17:00 交代で食事 電気復旧

18:00 感染者の居室 患者の観察

19:00 本部合同会議

【本部から報告】

- ① 搜索要請に対して京都市消防局が入っているが、大雨警報が発令されており土砂災害の危険性のため待機。
- ② 道路上、土砂崩れ(倒木)があり 通行止めとなっている
- ③ 資機材調達要請は大谷小学校避難所在の千葉県職員→石川県庁在の千葉県職員→浜松市職員→自衛隊と情報が行くシステムになっている。
- ④ 弾性包帯ほか、医療資機材の要請をする。
- ⑤ 現在、珠洲市内の避難所で待機中の2名(14日ショックを起こし、珠洲総合病院に搬送)は明日、自衛隊車両で本避難所に戻る予定。
- ⑥ 看護チームより：
 - ・本日、医療チームに29名が受診している。主に風邪症状と血圧関連。薬が処方されていると報告あり。
 - ・電気が復旧したが、高齢者の歩行状態については、見守っていく。
 - ・段ボールベッドの入荷に併せて、感染予防のためブルーシート貼りを推奨した。→ボランティアリーダーより、本部会議後に状況説明して頂くことになった。それに伴い、従来10時であった朝食を11時に変更する、さらに夕食16時も、17時に変更となった。賄いボランティアの同意も得られた。
- ⑦ 明日1/16(火) 当小学校で10:30より始業式

20:00 本部合同会議で決定された明日のブルーシート敷について、ボランティアリーダーより住民に説明が行われた。それに伴い食事時間の変更などについても説明が行われた。

課題

避難所における課題として下記をアセスメントした。

- ① 本日、医療4チームによる診療あり、風邪症状の薬が処方された。住民は安心した様子。
- ② 感染症の症状として発熱、せき、下痢等の症状を早期発見し対応することが重要である。
- ③ 電気が復旧し、廊下やトイレ等の安全が保たれるようになった
- ④ 高齢者は歩行時杖使用。トイレキットはトイレ内に欠かすことなく補充が必要である。
- ⑤ 高齢者の中で足元が不安定な住人がおり、家族の介助で歩行している。一人の場合もあり、引き続き見守りが必要である。
- ⑥ 避難所本部3役との連携・協働により、避難所の課題、個人別の課題に対応する。
- ⑦ 朝8:30、夜18:30頃、2回の合同会議からの情報交換が重要である。看護チームは引き続き朝の合同会議にも参加することにした。



医療チームへの
受診希望者の情報
提供説明



受診希望者の受付